中学校給食の実施を

生徒に個人差あり無理

水野恭子　議員（共産党）

❶学校給食について㋐自校直営方式を継続し正規職員の配置を。㋑アルミ食器を改善すべき。㋒地元野菜、国産小麦のパンを供給せよ。㋓中学校に給食の実施を。

教育長　㋐調理業務に関して民間委託方式を研究。㋑食器については、研究している。㋒地元野菜を積極的に利用したい。㋓中学校給食は、生徒の発達や運動量などに個人差があり一人ひとりのニーズに対応できない。家での工夫が重要。中学校給食は考えていない。

❷学童保育について㋐今後ますます入所の要望が増える中で、児童が安心して遊び、生活できる施設の拡充を。㋑指導員の身分保障と待遇改善を。㋒長期休暇の保育時間について、働く親の条件に合わせて開所時間を早めよ。㋓学童の対処を六年生まで、拡大を。

教育部長　㋐今の所、プレハブ教室は、考えていない。㋑指導員の身分については、パート職員の制度は変えない。㋒長期休暇の保育時間は学校の始業時からということで、変更しない。㋓学童の対象は国の要項に基づき、三年生までとし夏休みは四年生まで受け入れる。

❸女性問題について㋐女性センターを早期に。いつまでに設置するのか計画を示せ。㋑審議会や協議会に占める女性の割合は、今、17・6％、目標の30％への計画は。㋒庁内の女性管理職の比率アップを。㋓男女共同参画条例の制定を早期に。

市長公室長　㋐既存の施設の活用等の具体的検討、体制について進めている。㋑審議会等の女性比率について、庁内男女共同参画推進会議において協議する。㋒性別にとらわれず個々の能力に応じた適材適所での登用を進めたい。㋓男女共同参画条例について策定の検討はしている。時期は未定。男女共同参画基本計画について、本年度市民意識、実態調査をする。

給食の配膳を行う小学生（大住小）

少人数学級の導入を

田辺東小三年生で実施

塩貝建夫　議員（共産党）

❶三月議会での付帯決議に基づき、学校の安全対策の具体化について回答されたい。

教育部長　付帯決議に基づき、㋐教室から職員室への緊急通報システムの整備㋑職員室、教室の入り口扉のガラスを透明ガラスに入れ替え㋒校門等のオートロック施錠の整備㋓万が一の侵入に備え刺股、ネットランチャー等の備品配置を行う。また、内容によっては補正対応を行い順次早急に整備したい。

❷少人数学級の導入を実施せよ。

教育長　少人数学級については、今年度田辺東小学校の三年生に少人数学級編成を実施した。今後においても各学校の様子を十分協議して対応していきたい。

❸京田辺市青少年を守る会の公金不正使用問題に対する、市教委の検査結果報告を求める。

教育部長　公認会計士による調査が実施され、平成12年度124万6221円、同13年度380万6734円、同14年度202万829円、同15年度238万883円の計945万4667円の使途不明金が判明した。既に会計責任者が6回に分割して6月15日までに全額返済すると報告を受けている。今後、共催事業を実施するか否かは、一定の実績を見定め、判断したい。

❹財政が厳しい折、高い落札率を下げれば、ムダをなくせる。市はどう取り組んできたのか。

建設部長　条件付き一般競争入札の導入、予定価格等の事前公表、工事費内訳書の提出義務づけ、入札参加資格停止の厳格化など制度改革を進めた結果、落札率は、平成13年度94％、同14年度93％、同15年度92％、同16年度88％と低下。今後、電子入札の実施も含め、一層透明度の高い入札制度に向け、改善を進めていきたい。

少人数学級で授業を受ける子どもたち

市内循環バスの運行は

実施できる環境にない

増富理津子　議員（共産党）

❶住民の移動手段である交通機関の確保、整備は自治体の大きな責務である。とりわけ、障害者、高齢者や運転免許を持たない住民、児童・生徒にとっては欠くことのできないものである。地域の実情に応じた公共交通を構築することが重要であり、公的施設への交通機関の充実、利便性は市民の切実な願いである。他自治体の先進的事例にも学び、早急に市内循環バスの運行、そのための協議会の設置を。

経済環境部長　市民の動線という観点から公共施設をつなぐような動きはない。庁内論議では「乗る人がいるのか」という声もあり、路線の設定、運行など難しい。

助役　自治会などから要請、要望は届いていない。実施できるだけの環境にない。

❷現在銭湯は、内風呂の普及や「スーパー銭湯」ができる中で利用者が減少し、維持管理が厳しい状況になっている。しかし内風呂のない方や憩いとコミュニティの場として利用されている方々にとって地域になくてはならないものである。銭湯をコミュニティの場として増改築し「コミュニティ銭湯」として活用したり、ボランティアの協力も得て「デイ銭湯」として取り組まれている自治体がある。身近な銭湯を、より健康保持とコミュニティの場としての活用を。

経済環境部長　既に地域コミュニティの場となっていると考えている。

❸近鉄新田辺駅東口は、高齢者や障害者の方はもちろん、利用されている方々からバリアフリーへの要望が強く出されている。エレベーター設置、通路の車止めの撤去、放置自転車の抜本的対策、駅前道路の交通規制など、市の対策は。

経済環境部長　車いすでの利用については、いつでも介護できる体制になっている。車止めの撤去の要請は考えていない。ではないと思う。事故の起こらない内に収蔵庫等に保管する必要があるが市の考えは。

教育部長　歴史民族資料館については、長期に整備する施設として生涯学習の拠点となる生涯学習センターに併設する施設として検討したい。保管している収蔵資料については、現在の施設が老朽化しており問題もあり、これを適切に収蔵、保管するための施設についても並行して検討したい。

教育長　市民の皆さん方から、大変貴重な民具をたくさんお預かりしている。安全面や管理面に気をつけて心配のないようにしていきたい。

精華町内を走るコミュニティバス

同志社田辺校地までの通学路の整備を

防犯も含め検討したい

小林喜代司　議員（一新会）

❶同志社田辺校地が開校されて間もなく20年になる。本市のイメージ効果と経済効果は非常に大きいものがある。学部等の充実により通学する学生の数も非常に増加しているが、最寄り駅である近鉄興戸駅、JR同志社前駅から通称田辺坂までの府道や市道は未整備のままである。今後の土地利用計画の見直しを含め通学される学生のために府道、市道の整備が必要であるが市の考えは。

建設部長　近鉄興戸駅から同志社大学等への通学道路は、近鉄沿線西側の市道和井田垣内線～府道八幡木津線を渡る陸橋が通学道路とされているが別路線を通り、府道八幡木津線へ通行している事は危険であり適正な通学を行うよう要請したい。

助役　近鉄興戸駅からの学生の歩行者通学道路の整備については、今後同志社大学と十分協議を重ね、防犯上の対応も含めよく検討したい。今後あの地域全体の土地利用のあり方等を踏まえてよく議論したい。

❷昭和45年頃から郷土史会と老人会を中心に収集され、また市民より寄付を受けた民具等の資料が約2，300件以上あるが、現在の保管場所である旧草内保育所は万全

興戸駅から歩いて大学へ向かう学生